

平成29年度当初予算

みんなが笑顔でいられる まちづくり予算

予算の概要

新年度予算は、市民主体のまちづくりを進めるため、市の掲げる「つながり」「あんしん」「みどり」の3つの理念に基づいた予算編成を行いました。

本市では、人口増加を支える社会インフラの整備が急務となっているため、必要な大規模事業は機を逃すことなく取り組み、その上で健全財政を維持していくことを念頭に、第5次総合計画で掲げる市の将来像「人が輝き 緑があふれる 交流都市 長久手」の実現に向けた施策や、子育て環境の整備拡充、高齢者支援施策など、本市を取り巻く喫緊の課題に対応するため、必要な予算を配分しました。

また、今後公共施設の老朽化により、公共施設の長寿命化を図る修繕や耐用年数を迎える施設の再整備を行う必要が出るのが予測されるため、将来の公共施設等の整備、修繕のために、基金への積立てを行う予算措置をしました。

会計名	平成 29 年度	平成 28 年度	差 引	増減率
一般会計	173億8,000万円	186億4,000万円	△12億6,000万円	△6.8%
特別会計	104億9,839万9千円	113億8,618万6千円	△8億8,778万7千円	△7.8%
合 計	278億7,839万9千円	300億2,618万6千円	△21億4,778万7千円	△7.2%



特別会計とは、一般会計とは財布を分けて、収支を管理しているものです。(例)国民健康保険特別会計

一般会計歳入

歳入の根幹となる市税は、大型商業施設の開業や人口増加等が見込まれることから、対前年度比約2億5,800万円(2.5%)の増加を見込んでいます。また、市税の歳入予算額に占める割合は、61.7%となっています。

各基金からの繰入金は、卯塚墓園管理棟整備事業のために公共施設等整備基金から約1億2,900万円、文化の家大規模修繕事業のために公共施設等管理基金から7,000万円を繰り入れするほか、必要な財源を補うため、財政調整基金から3億円を加え、総額4億9,932万7千円としました。

